

中国で循環型経済モデル地区の承認率が増加

国家発展改革委員会と財政部(以下、両部委)は2012年3月に連名で「園區の循環化改造の推進に関する意見」を発表。15年までに国レベルの園區の50%以上及び省レベルの園區の30%以上で循環型経済への転換を図り、国家循環型経済モデル園區を100カ所育成するよう求めた。

多くの省が相次いで園區の循環型経済モデル地区を申請

両部委が発表した「園區の循環化改造の推進に関する意見」に基づき、省レベルの園區で循環型経済モデル地区審査の動きが広がっている。現時点では、2013年5月に山東省で19カ所、8月に江西省で23カ所、9月に江蘇省で36カ所の園區がそれぞれ選ばれている。許可が下りれば事業の審査や優遇策の実施、資金援助などで多くの支援が受けられる。江蘇省では、各モデル地区に平均700万元(約1兆1,900億円)前後の補助金を支給している。

表1 既に展開中の省レベルの循環型経済モデル地区

省	公示日	承認数	モデル事例
山東省	2013-05-09	19	山東明水経済開発区、濰博ハイテク産業開発区など
江西省	2013-08-22	23	南昌ハイテク産業開発区、新余ハイテク産業開発区など
江蘇省	2013-09-16	36	南京江寧濱江経済開発区、南京溧水経済開発区など

データ出典: CCID(賽迪顧問)まとめ, 2013年11月

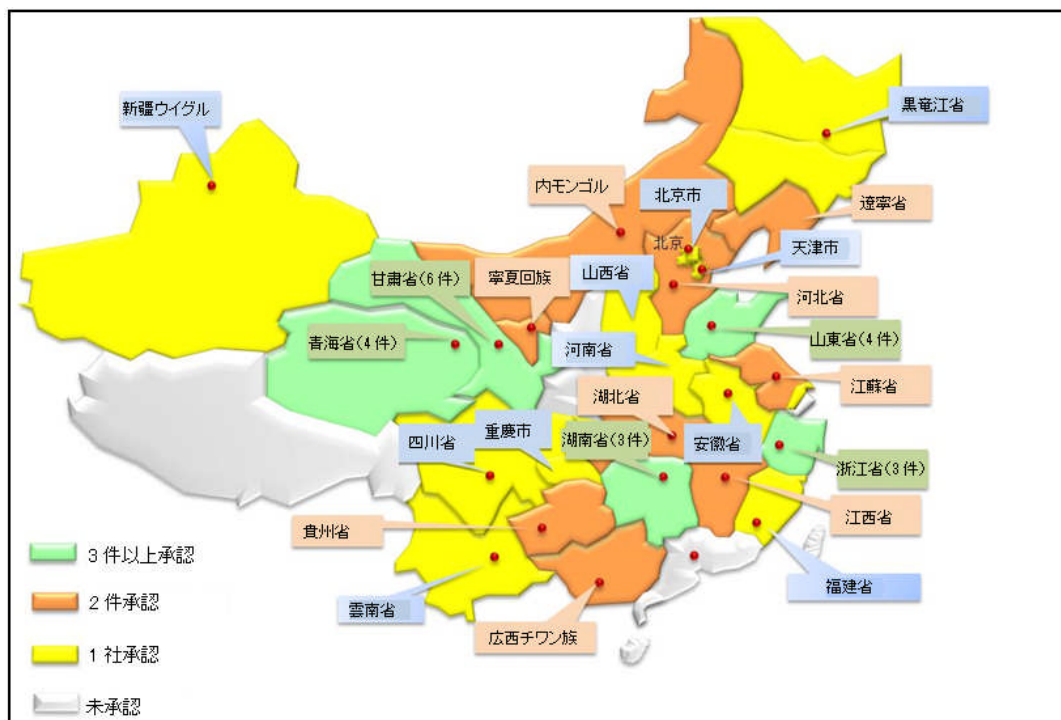
国家レベルの循環型経済モデル園區の承認率が増加

2013年11月現在、両部委では3期にわたってモデル園區の申請を受け付け計50の園區が承認されている。1期目は対象を甘肅省と青海省のチャイダム循環経済試験区に絞り、計8カ所の園區を承認。2期と3期には全国規模で募集し、それぞれ22と20カ所を承認した。「園區の循環化改造の推進に関する意見」の要求に基づき「第12次

■本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。また、電子的または機械的手段を問わず、本資料の一部または全部を無断で複製・転送等を行わないようお願い致します。

「五カ年計画」期間中に中国国内で100か所のモデル園區を作る計画で、14年と15年にはこれまでのペースを遥かに上回る年25か所の園區が承認されることになる。

図 1 国レベルの循環型経済モデル園區の地域分布



データ出典：CCID（賽迪顧問）まとめ、2013年11月

モデル園區申請は実施計画を重視

国家レベルのモデル園區の申請は実施計画が必須である。内容としては園區の基本的状況や循環型経済への転換理念などで、これが承認の是非を判断するカギとなる。実施計画づくりには以下の4点に注意が必要。

① 現地の基礎的条件を強調。社会、園區、企業の3つの次元から循環経済型産業を包括的に構築すること。甘粛省武威黄羊工業園區では、農業副産品の加工分野の特色を強調するとともに産業の横の連携や縦のつながりを重視している。

② 既存の主力産業を重視してチェーンを補強・延長、主力産業の体制を充実化。園區の循環型経済への転換のカギとなる強化学業が国の重点支援対象に該当し、循環型経済実現の重要な要素でもあることを必ず強調すること。既に承認済みの張

■本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。また、電子的または機械的手段を問わず、本資料の一部または全部を無断で複製・転送等を行わないようお願い致します。

掖工業園区では独自の農業副産品の加工、新材料、新エネルギーなど主力産業に的を絞って育成している。

③ 園区内の汚染集中対策設備建設事業、高度化事業、廃棄物交換システム事業、循環型経済技術研究開発・インキュベーションセンター事業など公共サービスインフラの建設を重視。

④ 循環型経済への転換における戦略的新興産業の育成の重視。北京経済技術開発区、天津経済技術開発区、青島経済技術開発区では、いずれも地元の産業インフラにマッチした戦略的新興産業を選んで育成している。

■ 賽迪顧問股份有限公司 (CCID) のご紹介

CCIDは、中国「工業情報化省」傘下で中国最大のコンサルティング会社です。2004年には、中国のコンサルティング会社として初めて香港証券取引所への上場を果たしました。各国の企業に対し、市場調査やマーケティング戦略・販売チャネルの構築支援など多岐にわたるサービスを提供しています。現在は北京本社のほか、上海や広州、深センに支社、日本や米国、韓国、イタリアに事務所を置いてあり、世界的に高い知名度を誇っています。

■ CCID日本事務所

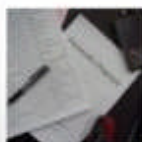
設立：2007年10月

代表：朱偉徳（ファーイースト・パートナーズ株式会社 代表取締役）

役割：中国市場調査サービスのご提供（市場レポート、市場データ、受託調査）

住所：東京都新宿区西早稲田 1-22-3（ファーイースト・パートナーズ株式会社内）

■ 中国市場調査サービス



中国市場調査レポート

中国市場の今を知る
最新マーケティングレポート

2012-2013年版中国市場調査レポートを
4月1日より販売開始。詳細はこちら↓

www.j-fep.co.jp/consul/report.html

■本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。また、電子的または機械的な手段を問わず、本資料の一部または全部を無断で複製・転送等を行わないようお願い致します。



中国市場データ配信
企業別・地域別最新データの
定期配信サービス

ご希望分野のデータを定期的にお届けするサービスです。詳細はこちら↓

www.j-fep.co.jp/consul/data.html



中国市場受託調査
政府系コンサル企業による
ニーズ・目的に応じた調査

調査地域・分野を問わず、お客様固有のニーズに合わせて実施するカスタムリサーチサービスです。詳細はこちら↓

www.j-fep.co.jp/consul/custom.html